

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	輪島地区地域水産業再生委員会（海女部会）
代表者名	会長 富島 明怡

再生委員会の構成員	石川県漁業協同組合、輪島市、輪島の海女漁保存振興会、石川県
オブザーバー	

対象となる地域の範囲 及び漁業種類	石川県漁業協同組合輪島支所管内（輪島市沿岸海域） 「海女漁」（海女：女性の素潜りによる採介藻漁業） 200人（平成27年）
----------------------	---

2 地域の現状

（1）関連する水産業を取り巻く現状等

石川県輪島市は、能登半島の北西に位置し、沿岸から沖合にかけて好漁場が広がっている。海岸の大半が岩礁地形で、アワビやサザエ等の貝類や様々な海藻類等の磯根資源に恵まれている。また石川県漁業協同組合輪島支所がある輪島港は、県内最大の漁業基地であり、底びき網や刺し網漁業をはじめとする漁船漁業の根拠地となっている。

輪島港の北方48km沖合には、総面積1.03km²、海拔12.4mの平坦な有人島の「舳倉島（へぐらじま）」があり、定期連絡船が1日1往復就航している。輪島港と舳倉島のほぼ中間に、7つの無人島と周囲の岩礁からなる「セツ島」がある。これらの島嶼・岩礁の周囲は古くから海女漁の漁場として利用されてきた。さらに、輪島市と珠洲市の境界沖合18kmには、荒天時には海中に没する「嫁礁（よめぐり）」と呼ばれる岩礁があり、この周囲にも共同漁業権が設定され、海女漁に利用されている。

本土側は「地方（ジカタ）」と呼ばれ、採介藻漁業やサザエ刺し網等が営まれているが、一部では、エゴやテングサ、ナマコ等を採取対象とする海女漁が行われている。

石川県で海女漁が営まれているのは、輪島市のみで、海女の数は200人（平成27年時点）となっている。

輪島の海女の起源は、今から約450年前の永禄年間頃より筑前国宗像郡鐘ヶ崎（現在の福岡県宗像市鐘崎）から能登に移り住んできた漁民といわれ、慶安2年（1649）に加賀藩主より現在の輪島市海士町地区に土地を拝領して開町したと言いつたえられており、以来、約370年にわたり、連綿と海女漁が続けられてきた。

長きにわたり地域の主要漁業種類として位置付けられてきた海女漁だが、昭和30年頃より、漁船の機関化や漁具・機器等の大型化・近代化が進み、経済的には地域漁業における海女漁の相対的な位置が低下した。

しかし、200人の海女が漁村コミュニティの維持に積極的に関わっていることや、今

でも地区全体の1割程度の水揚げを担っていること、舢倉島を代表する輪島の海を海女が守ってきたとする地域の共通認識等を背景に、海女漁が地域の代表的な漁業種類の一つとして位置付けられている。

県漁協輪島支所販売取扱高 (うち海女の水揚げ) (千円)

年度	輪島支所取扱高	海女の水揚 (シェア)
21	2,477,774	252,000 (10.2%)
22	2,712,192	232,000 (8.5%)
23	2,775,276	267,000 (9.6%)
34	2,411,349	304,000 (12.6%)
25	2,668,254	250,000 (9.4%)
平均	2,608,969	261,000 (10.0%)

※漁協が取り扱わないイワノリ、ナマコの金額は含まれない。

全国的には、海女漁は従事者数が減少し高齢化が進むなど、衰退の傾向にあり、人数は昭和53年(1978)の9,134人から平成25年(2013)の1,849人と80%も減少した。また、70才以上の海女がほとんどを占めるような漁村地区が大半を占めているともいわれている。

この間、輪島では概ね200人を維持しており、平均年齢も50才台と著しい高齢化には至っていないものの、40才以下の海女の割合は2割を切っており、今後も海女の人数が維持できるかは不確定であることやアワビやサザエの資源の減少、藻場の衰退が懸念されていること等、海女漁を取り巻く環境は楽観視できるものではない。

現在の海女漁の形態は、輪島港を拠点として漁船に数人の海女が乗り合いし、舢倉島や七ツ島周辺で漁をした後に輪島港に戻る「通い海女」と、舢倉島に居住して、自宅から徒歩で漁場に向かう「カチカラ海女」の2種に大別される。藩政期から昭和40年頃まで大半を占めていた夫婦など男女一組により、男性が命綱(イキヅナ)を持ち、女性が素潜り漁を行う「イソブネ(三重県等ではフナド海女)」と呼ばれる形態は平成20年(2008)頃を最後に行われていない。

以下に、主な漁獲対象の漁期を示す。

種類	漁期	備考
イワノリ	1月～3月	・主となる採取地は七ツ島
ナマコ	11/6～3月	・輪島地先を中心に七尾市等に出稼ぎ漁することもある。
カジメ (ツルアラメ)	1月～5月中旬	・舢倉島や七ツ島での採取は禁止。 ・時化の後などに打ち上がった寄りカジメを拾う。
ワカメ	3/25～6/30	・七ツ島から漁が始まり、後に金沢で採取
イワガキ	4月～6月	・金沢等に出稼ぎ漁をすることもある。
イシモズク	7月～8月中旬	
エゴ	7月中旬から旧盆	・サザエの産卵のための重要な海藻。 ・近年は輪島市の本土側で採取することが増えた。
アワビ	7/1～9/30	・以前は6～10月だったが、資源保護のため漁期短縮。
サザエ	7/1～9/30	・ 同上

(2) その他の関連する現状等

輪島の海女漁に係る伝統的な技術等を、海女文化として保存・継承を図り、もって地域文化の向上や生業としての海女漁振興を図ることを目的に、平成26年5月に、輪島市内の海女を会員とし、漁協・団体の関係者等を協力者とする「輪島の海女漁保存振興会」が設立された。

石川県は地元輪島市の協力を得て、平成25年度に海女文化に係る調査を実施し、平成26年3月に「海女文化基礎調査報告書 ～輪島における素潜り漁及び関係する習俗の概観～」を刊行。平成26年6月20日には、石川県教育委員会が「輪島の海女による伝統的素潜り漁技術」を石川県無形民俗文化財に指定するとともに、石川県が独自の称号である「いしかわり海の至宝」に認定している。

また、平成26年度からは、海女文化に係る詳細調査に取り組んでいるところである。

なお、輪島市を含む能登半島に広がる4市5町が、平成23年6月に「能登の里山・里海」として、新潟県佐渡島とともに先進国では初めて世界農業遺産（GIAHS: Globally Important Agricultural Heritage Systems）に登録されており、同遺産を構成する里海の代表例として輪島の海女漁が位置付けられている。

さらに、輪島市は1970年代のディスカバージャパンのブームの頃より奥能登観光の拠点であり、中でも舳倉島はバードウォッチングや磯釣りのメッカとして知られている。

平成25年に実施された、金沢ー能登間を走る高規格道「のと里山海道」の無料化や、平成27年3月14日の北陸新幹線金沢開業、輪島市を舞台とするNHK連続テレビ小説「まれ」が平成27年に全国に放映された等により、輪島市をはじめとする能登地域を訪れる観光客や愛好家が増えている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

古来より連綿と続く海女漁は、沿岸の漁業資源を持続的に利用してきた「地球にやさしい」漁法だが、現在も空気ポンプ等の器械・器具を使用せずに体一つで潜水を繰り返す漁労は厳しい作業でもある。さらにアワビやサザエをはじめとする磯根資源の減少や魚価安等により漁業経営は厳しい状況にある。

そのため、今後は以下の対策を総合的に進めながら、漁業所得の向上を図り安定した漁業経営の確立を図る。

【漁業収入向上のための取り組み】

① アワビ等の磯根資源の維持増大による漁獲収入の向上

- 厳密な資源管理による磯根資源の維持
- 種苗放流等による磯根資源の涵養
- 外敵生物（マダコ・ヒトデ）、競合生物（ウニ・小型巻貝）の駆除

- アワビ・サザエ生育環境の保全（ソフト事業 藻場保全対策）
 - アワビ・サザエ増殖場の整備（ハード事業）
 - ② 漁獲物の高付加価値化による収入の向上
 - 海女による漁獲物の加工
 - 海女採り魚介類のブランド化推進
 - 駆除した外敵生物等の有効活用
- 【漁業コスト削減のための取組】
- 効率的な操業の推進によるコスト削減
- 漁船の航走速度減速による燃料費節減
 - 協業化の推進によるコスト削減

(2) 漁獲努力量の削減・維持およびその効果に関する担保措置

藩政時代より続く、住民の自治組織を背景とする相互監視体制が、資源管理に関する地元ルールの維持に大きな位置を占めている。

具体的には、操業期間や時間、禁漁区の設定等の地区内の取り決めに反する行為に対し、コミュニティの意志決定機関であり、地区内の漁業管理も行ってきた「海士町自治会」が、違反者に対して出漁禁止等の罰則を講じてきた。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

（取組内容については、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ必要に応じて見直す。）

1) 1年目（平成27年度）

漁業収入向上のための取り組み	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年比 1%向上させる。</p> <p>① アワビ等の磯根資源の維持増大による漁獲収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厳密な資源管理による磯根資源の維持 <p>漁業者及び漁協は、漁業権行使規則に加えて、自主ルールによる漁獲規制（採取時期、採取時間、禁漁区の設定）を実施することにより、厳格な資源管理を実施し、磯根資源の維持を図る。</p> <p>例：舳倉島（第1種共同漁業権）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>項目</th> <th>行使規則</th> <th>自主ルール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">アワビ</td> <td>採取時期</td> <td>1月1日～9月30日</td> <td>7月1日～9月30日</td> </tr> <tr> <td>採取時間</td> <td>規定なし</td> <td>9時～13時</td> </tr> <tr> <td>採取方法</td> <td>—</td> <td>素潜り漁に限定</td> </tr> </tbody> </table>	魚種	項目	行使規則	自主ルール	アワビ	採取時期	1月1日～9月30日	7月1日～9月30日	採取時間	規定なし	9時～13時	採取方法	—	素潜り漁に限定
魚種	項目	行使規則	自主ルール												
アワビ	採取時期	1月1日～9月30日	7月1日～9月30日												
	採取時間	規定なし	9時～13時												
	採取方法	—	素潜り漁に限定												

サザエ	採取時期	周年	7月1日～9月30日
	採取時間	規定なし	9時～13時
	採取方法	—	素潜り漁に限定

※ 舢倉島や七ツ島・嫁礁周辺海域を除くと、石川県の岩礁海岸では、サザエ等は大半が刺網や把具によって漁獲されている。

○ 種苗放流等による磯根資源の涵養

漁業者及び漁協は、島嶼部（舢倉島、七ツ島、嫁礁）及び輪島市本土側の岩礁域に、アワビ種苗（殻径 20mm 以上）とサザエ種苗（殻高 5mm 以上）を合わせて 100 千個を目標に放流し、有用貝類資源の増大を図る。

平成 27 年度実績（輪島市全体）

アワビ：75 千個（うち舢倉島が 65 千個）

サザエ：30 千個（210.5kg 7g/個換算）

○ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）、競合生物（ウニ・小型巻貝）の駆除

漁業者は、地区住民と協力して、アワビを食害するマダコやヒトデ及び海藻を摂餌してアワビやサザエと餌料面で競合するウニやオオコシダカガンガラ等の小型巻貝を駆除する。

- ・ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）の駆除 かご漁具

舢倉島地区：4月～10月

- ・ 競合生物（ウニ、小型巻貝）の駆除 海女による採取

南志見地区：平成 27 年 9 月 17、18、20 日（3 日間）

光浦地区：平成 27 年 9 月 4、12、16 日（3 日間）

○ アワビ・サザエ生育環境の保全

漁業者は、地元住民の協力と県水産総合センターの指導を受け、七ツ島海域において藻場の保全を図り、アワビ・サザエの生育環境を保全するためカジメ（ツルアラメ）母藻設置試験を実施する。

○ アワビ・サザエ増殖場の整備

石川県は、平成 27 年 11 月 30 日に開催された「輪島の海女漁保存振興会」等の機会を捉えて、漁業者と意見交換し、平成 28 年度に舢倉島海域に整備する予定のサザエ等増殖場（投石）造成に係る候補区域を選定する。

② 漁獲物の高付加価値化による収入の向上

○ 海女による漁獲物の加工

輪島市では、古くから蒸しアワビや蒸しサザエ等の磯根資源を使った水産加工品が作られてきたが、近年は漁獲物を原料として加工業者に供給することが大半となっている。

また、メカブ（ワカメの基部）のように、従来は販売・利用しなかった部位もあったことから、今後は漁業者自らが水産加工に取り組み、未利用資源の活用や漁獲物の高付加価値化による収入の向上を図る。

（併せて、漁獲物の一部を低利用の海藻に向けることで、貝類資源の保護を図る。）

（加工に取り組み、商品化を進める品目）

湯通し塩蔵ワカメ、塩蔵イシモズク、カットカジメ、蒸しアワビ（H27より「輪島海女採り蒸しアワビ」として、海女が舳倉島の塩を使って加工した製品を出荷開始。）、蒸しサザエ、茹でサザエ

○ 海女採り魚介類ブランド化の推進

漁業者及び漁協は、「輪島海女採りさざえ」・「輪島海女採りあわび」（平成21年9月4日 石川県漁協が商標登録）をはじめとする海女採り魚介類のブランド化を推進するため以下のイベントでPRを実施する。

- ・平成27年7月19日 輪島あわびまつり
（輪島マリンタウン会場 輪島市）
- ・平成27年10月3,4日 石川の農林漁業まつり
（石川県産業展示館 金沢市）
- ・平成27年10月3～5日 輪島の海女漁フェア
（いしかわ百万石物語江戸本店 東京都）

また、平成27年3月18日に「世界農業遺産 未来につなげる「能登」の一品」として、県より認定された「海女採りさざえ」、「海女採りあわび」及び「塩蔵わかめ」を、平成26年10月に東京銀座にオープンした石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」の看板商品として恒常的に、陳列・販売することで、首都圏の消費者に対してPRし、ブランド化を目指す。

○ 駆除した外敵生物等の有効活用

アワビを食害するため漁業者が駆除したマダコは、小型の

	<p>ためほとんど出荷されず、漁業者が自家消費する程度であるが、石川県のいしかわ里山創成ファンド事業の採択を受けて新たな水産加工品開発に取り組む定置網業者に、通常サイズのマダコと同じ魚価水準で出荷することによって収入の向上を図る。なお、当該ファンド事業の実施業者は、舩倉島のマダコを使ったコロケやハンバーグのレシピを開発し、「輪島あわびまつり」や「いしかわの農林漁業まつり」等の催しに出品している。</p> <p>駆除したマダコが、通常サイズのマダコと同じ魚価水準で出荷可能となり、漁業者によるマダコ駆除のインセンティブとなっている。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>効率的な操業の推進によるコスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁船の航走速度減速による燃料費節減 漁業者は、海況や天候に問題がなければ、帰路の航行速度を14%程度減速(14.5→12knt)し、燃料油の消費節減を図る。 ○ 協業化の推進によるコスト削減 漁業者は、従来から実施しているグループによる漁船への搭乗「アイノリ」を徹底し、漁船の用船費、燃料費等の削減を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 離島漁業再生支援交付金(国庫事業) ② 水産多面的機能発揮対策(国庫事業) ③ 栽培漁業資源増大推進事業(県) ④ 海女文化継承・振興事業(県・市) ⑤ 首都圏農林水産物魅力発信事業(県) ⑥ いしかわ里山創成ファンド(県) ⑦ 石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」 ⑧ 石川県漁協輪島支所加工施設(H27整備)

2) 2年目（平成28年度）

<p>漁業収入向上のための取り組み</p>	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年比 2%向上させる。</p> <p>① アワビ等の磯根資源の維持増大による漁獲収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 厳密な資源管理による磯根資源の維持 漁業者及び漁協は、漁業権行使規則に加えて、自主ルールによる漁獲規制（採取時期、採取時間、禁漁区の設定）を実施することにより、厳格な資源管理を実施し、磯根資源の維持を図る。○ 種苗放流等による磯根資源の涵養 漁業者及び漁協は、島嶼部（舢倉島、七ツ島、嫁礁）及び輪島市本土側の岩礁域に、アワビ種苗（殻径20mm以上）とサザエ種苗（殻高5mm以上）を合わせて100千個を目標に放流し、有用貝類資源の増大を図る。○ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）、競合生物（ウニ・小型巻貝）の駆除 漁業者は、地区住民と協力して、アワビを食害するマダコやヒトデ及び海藻を摂餌してアワビやサザエと餌料面で競合するウニやオオコシダカガンガラ等の小型巻貝を駆除する。<ul style="list-style-type: none">・ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）の駆除 かご漁具 舢倉島地区：4月～10月・ 競合生物（ウニ、小型巻貝）の駆除 海女による採取○ アワビ・サザエ生育環境の保全 漁業者は、地元住民の協力と県水産総合センターの指導を受け、七ツ島海域において藻場の保全を図り、アワビ・サザエの生育環境を保全するためカジメ（ツルアラメ）母藻設置試験を実施する。○ アワビ・サザエ増殖場の整備 石川県は、平成27年度に選定した区域に、以下のとおり公共事業による増殖施設整備を実施する。<ul style="list-style-type: none">・ 事業主体：石川県・ 対象生物：サザエ等・ 設置箇所：輪島（海士町舢倉島地先）・ 事業内容：藻場礁（コンクリートブロック）、投石工
-----------------------	--

	<p>② 漁獲物の高付加価値化による収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海女による漁獲物の加工 <p>漁業者自らが水産加工に取り組み、未利用資源の活用や漁獲物の高付加価値化による収入の向上を図る。 (加工に取り組み、商品化を進める品目) 湯通し塩蔵ワカメ、塩蔵イシモズク、カットカジメ、蒸シアワビ、蒸しサザエ、茹でサザエ</p> ○ 海女採り魚介類ブランド化の推進 <p>漁業者及び漁協は、「輪島海女採りさざえ」・「輪島海女採りあわび」(平成21年9月4日 石川県漁協が商標登録)をはじめとする海女採り魚介類のPRを県内外で実施する。</p> ○ 駆除した外敵生物等の有効活用 <p>漁業者は、アワビを食害するため駆除するマダコを石川県のいしかわ里山創成ファンド事業の採択を受けて新たな水産加工品開発に取り組む定置網業者に、通常サイズのマダコと同じ魚価水準で出荷することによって収入の向上を図る。 なお、駆除したマダコが、通常サイズのマダコと同じ魚価水準で出荷可能となることが、漁業者によるマダコ駆除のインセンティブとなる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>効率的な操業の推進によるコスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁船の航走速度減速による燃料費節減 <p>漁業者は、海況や天候に問題がなければ、帰路の航行速度を14%程度減速(14.5→12knt)し、燃料油の消費節減を図る。</p> ○ 協業化の推進によるコスト削減 <p>漁業者は、従来から実施しているグループによる漁船への搭乗「アイノリ」を徹底し、漁船の用船費、燃料費等の削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 離島漁業再生支援交付金(国庫事業) ② 水産多面的機能発揮対策(国庫事業) ③ 水産環境整備事業(公共事業) ④ 栽培漁業資源増大推進事業(県) ⑤ 海女文化継承・振興事業(県・市) ⑥ 首都圏農林水産物魅力発信事業(県) ⑦ いしかわ里山創成ファンド(県) ⑧ 石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」 ⑨ 石川県漁協輪島支所加工施設

3) 3年目（平成29年度）

<p>漁業収入向上のための取り組み</p>	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年比 4%向上させる。</p> <p>① アワビ等の磯根資源の維持増大による漁獲収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 厳密な資源管理による磯根資源の維持 漁業者及び漁協は、漁業権行使規則に加えて、自主ルールによる漁獲規制（採取時期、採取時間、禁漁区の設定）を実施することにより、厳格な資源管理を実施し、磯根資源の維持を図る。○ 種苗放流等による磯根資源の涵養 漁業者及び漁協は、島嶼部（舳倉島、七ツ島、嫁礁）及び輪島市本土側の岩礁域に、アワビ種苗（殻径20mm以上）とサザエ種苗（殻高5mm以上）を合わせて100千個を目標に放流し、有用貝類資源の増大を図る。○ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）、競合生物（ウニ・小型巻貝）の駆除 漁業者は、地区住民と協力して、アワビを食害するマダコやヒトデ及び海藻を摂餌してアワビやサザエと餌料面で競合するウニやオオコシダカガンガラ等の小型巻貝を駆除する。<ul style="list-style-type: none">・ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）の駆除 かご漁具 舳倉島地区：4月～10月・ 競合生物（ウニ、小型巻貝）の駆除 海女による採取○ アワビ・サザエ生育環境の保全 漁業者は、地元住民の協力と県水産総合センターの指導を受け、七ツ島海域において藻場の保全を図り、アワビ・サザエの生育環境を保全するためカジメ（ツルアラメ）母藻設置試験を実施する。 <p>② 漁獲物の高付加価値化による収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 海女による漁獲物の加工 漁業者自らが水産加工に取り組み、未利用資源の活用や漁獲物の高付加価値化による収入の向上を図る。 (加工に取り組み、商品化を進める品目) 湯通し塩蔵ワカメ、塩蔵イシモズク、カットカジメ、蒸シアワビ、蒸しサザエ、茹でサザエ
-----------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海女採り魚介類ブランド化の推進 漁業者及び漁協は、「輪島海女採りさざえ」・「輪島海女採りあわび」（平成21年9月4日 石川県漁協が商標登録）をはじめとする海女採り魚介類のPRを県内外で引き続き実施する。 ○ 駆除した外敵生物等の有効活用 漁業者は、アワビを食害するため駆除するマダコを、水産加工品開発・販売に取り組む業者に、通常サイズのマダコに近い魚価水準で出荷することにより収入の向上を図る。 さらに、漁業者は、当該業者よりレシピの提供を受け、駆除事業により採取されるマダコを使った加工品の製造・販売に取り組む。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>効率的な操業の推進によるコスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁船の航走速度減速による燃料費節減 漁業者は、海況や天候に問題がなければ、帰路の航行速度を14%程度減速（14.5→12knt）し、燃料油の消費節減を図る。 ○ 協業化の推進によるコスト削減 漁業者は、従来から実施しているグループによる漁船への搭乗「アイノリ」を徹底し、漁船の用船費、燃料費等の削減を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 離島漁業再生支援交付金（国庫事業） ② 水産多面的機能発揮対策（国庫事業） ③ 栽培漁業資源増大推進事業（県） ④ 海女文化継承・振興事業（県・市） ⑤ 首都圏農林水産物魅力発信事業（県） ⑥ 石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」 ⑦ 石川県漁協輪島支所加工施設

4) 4年目(平成30年度)

<p>漁業収入向上のための取り組み</p>	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年比 7%向上させる。</p> <p>① アワビ等の磯根資源の維持増大による漁獲収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 厳密な資源管理による磯根資源の維持 漁業者及び漁協は、漁業権行使規則に加えて、自主ルールによる漁獲規制(採取時期、採取時間、禁漁区の設定)を実施することにより、厳格な資源管理を実施し、磯根資源の維持を図る。○ 種苗放流等による磯根資源の涵養 漁業者及び漁協は、島嶼部(舳倉島、七ツ島、嫁礁)及び輪島市本土側の岩礁域に、アワビ種苗(殻径20mm以上)とサザエ種苗(殻高5mm以上)を合わせて100千個を目標に放流し、有用貝類資源の増大を図る。○ 外敵生物(マダコ・ヒトデ)、競合生物(ウニ・小型巻貝)の駆除 漁業者は、地区住民と協力して、アワビを食害するマダコやヒトデ及び海藻を摂餌してアワビやサザエと餌料面で競合するウニやオオコシダカガンガラ等の小型巻貝を駆除する。<ul style="list-style-type: none">・ 外敵生物(マダコ・ヒトデ)の駆除 かご漁具 舳倉島地区:4月~10月・ 競合生物(ウニ、小型巻貝)の駆除 海女による採取○ アワビ・サザエ生育環境の保全 漁業者は、地元住民の協力と県水産総合センターの指導を受け、七ツ島海域において藻場の保全を図り、アワビ・サザエの生育環境を保全するためカジメ(ツルアラメ)母藻設置試験を実施する。 <p>② 漁獲物の高付加価値化による収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 海女による漁獲物の加工 漁業者自らが水産加工に取り組み、未利用資源の活用や漁獲物の高付加価値化による収入の向上を図る。 (加工に取り組み、商品化を進める品目) 湯通し塩蔵ワカメ、塩蔵イシモズク、カットカジメ、蒸しアワビ、蒸しサザエ、茹でサザエ
-----------------------	---

	<p>○ 海女採り魚介類ブランド化の推進 漁業者及び漁協は、「輪島海女採りさざえ」・「輪島海女採りあわび」（平成21年9月4日 石川県漁協が商標登録）をはじめとする海女採り魚介類のPRを県内外で引き続き実施する。</p> <p>○ 駆除した外敵生物等の有効活用 漁業者は、アワビを食害するため駆除するマダコを、水産加工品開発・販売に取り組む業者に、通常サイズのマダコに近い魚価水準で出荷することにより収入の向上を図る。 さらに、漁業者は、当該業者よりレシピの提供を受け、駆除事業により採取されるマダコを使った加工品の製造・販売に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>効率的な操業の推進によるコスト削減</p> <p>○ 漁船の航走速度減速による燃料費節減 漁業者は、海況や天候に問題がなければ、帰路の航行速度を14%程度減速（14.5→12knt）し、燃料油の消費節減を図る。</p> <p>○ 協業化の推進によるコスト削減 漁業者は、従来から実施しているグループによる漁船への搭乗「アイノリ」を徹底し、漁船の用船費、燃料費等の削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>① 離島漁業再生支援交付金（国庫事業） ② 水産多面的機能発揮対策（国庫事業） ③ 栽培漁業資源増大推進事業（県） ④ 海女文化継承・振興事業（県・市） ⑤ 石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」 ⑥ 石川県漁協輪島支所加工施設</p>

5) 5年目（平成31年度）

<p>漁業収入向上のための取り組み</p>	<p>以下の取組により、漁業収入を基準年比 10%向上させる。</p> <p>① アワビ等の磯根資源の維持増大による漁獲収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 厳密な資源管理による磯根資源の維持 漁業者及び漁協は、漁業権行使規則に加えて、自主ルールによる漁獲規制（採取時期、採取時間、禁漁区の設定）を実施することにより、厳格な資源管理を実施し、磯根資源の維持を図る。○ 種苗放流等による磯根資源の涵養 漁業者及び漁協は、島嶼部（舳倉島、七ツ島、嫁礁）及び輪島市本土側の岩礁域に、アワビ種苗（殻径 20mm 以上）とサザエ種苗（殻高 5mm 以上）を合わせて 100 千個を目標に放流し、有用貝類資源の増大を図る。○ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）、競合生物（ウニ・小型巻貝）の駆除 漁業者は、地区住民と協力して、アワビを食害するマダコやヒトデ及び海藻を摂餌してアワビやサザエと餌料面で競合するウニやオオコシダカガンガラ等の小型巻貝を駆除する。<ul style="list-style-type: none">・ 外敵生物（マダコ・ヒトデ）の駆除 かご漁具 舳倉島地区：4月～10月・ 競合生物（ウニ、小型巻貝）の駆除 海女による採取○ アワビ・サザエ生育環境の保全 漁業者は、地元住民の協力と県水産総合センターの指導を受け、七ツ島海域において藻場の保全を図り、アワビ・サザエの生育環境を保全するためカジメ（ツルアラメ）母藻設置試験を実施する。 <p>② 漁獲物の高付加価値化による収入の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 海女による漁獲物の加工 漁業者自らが水産加工に取り組み、未利用資源の活用や漁獲物の高付加価値化による収入の向上を図る。 (加工に取り組み、商品化を進める品目) 湯通し塩蔵ワカメ、塩蔵イシモズク、カットカジメ、蒸しアワビ、蒸しサザエ、茹でサザエ
-----------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海女採り魚介類ブランド化の推進 漁業者及び漁協は、「輪島海女採りさざえ」・「輪島海女採りあわび」（平成21年9月4日 石川県漁協が商標登録）をはじめとする海女採り魚介類のPRを県内外で引き続き実施する。 ○ 駆除した外敵生物等の有効活用 漁業者は、アワビを食害するため駆除すマダコを、水産加工品開発・販売に取り組む業者に、通常サイズのマダコに近い魚価水準で出荷することにより収入の向上を図る。 さらに、漁業者は、当該業者よりレシピの提供を受け、駆除事業により採取されるマダコを使った加工品の製造・販売に取り組む。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>効率的な操業の推進によるコスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁船の航走速度減速による燃料費節減 漁業者は、海況や天候に問題がなければ、帰路の航行速度を14%程度減速（14.5→12knt）し、燃料油の消費節減を図る。 ○ 協業化の推進によるコスト削減 漁業者は、従来から実施しているグループによる漁船への搭乗「アイノリ」を徹底し、漁船の用船費、燃料費等の削減を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 離島漁業再生支援交付金（国庫事業） ② 水産多面的機能発揮対策（国庫事業） ③ 栽培漁業資源増大推進事業（県） ④ 海女文化継承・振興事業（県・市） ⑤ 石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」 ⑥ 石川県漁協輪島支所加工施設

(4) 関係機関との連携

生業である海女漁の振興を図るとともに、地域の重要な文化である海女文化の保存・承継を図るため、海女を含む漁業者、漁協に加え、地区住民により構成される自治会等が連携し、海女漁が存続できる漁場環境や社会経済環境づくりを目指す。

1 漁業者・地区住民等により構成される組織

- ① 輪島の海女漁保存振興会（海女）
- ② 海士町自治会（地区住民組織）
- ③ 舢倉島区（地区住民組織）
- ④ 輪島崎区（地区住民組織）

2 漁業協同組合

石川県漁業協同組合（輪島支所）

3 地方自治体

- ① 石川県（農林水産部水産課、水産総合センター）
- ② 輪島市（産業部農林水産課水産振興室）

4 その他

石川県水産多面的機能発揮対策地域協議会（予定） 水産多面的機能発揮対策

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上	%	基準年	平成 26 年度	漁業所得	千円
		目標年	平成 31 年度	漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法およびその妥当性

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
離島漁業再生支援交付金	<p>マダコの駆除</p> <p>外敵生物であるマダコを駆除することで、アワビ・サザエ等の生育環境が整備される。</p> <p>舢倉島の特産品開発</p> <p>販売による収入増、海女採り魚介類のPRを図る。</p>

水産多面的機能発揮対策	<p>ウニ駆除等による藻場保全</p> <p>海藻を摂餌するウニやオオコシダカガンガラ等の競合生物を駆除することで、アワビ等の餌料環境を改善する。</p>
水産環境整備事業（公共事業）	<p>サザエ等増殖施設の設置</p> <p>海藻の生育が乏しい平坦な海底に投石等による岩場を造成し、藻場の造成とサザエ等の住み場を整備する。</p>
栽培漁業資源増大推進事業	<p>アワビ・サザエの放流経費を支援</p> <p>漁業者が実施する種苗費を除く種苗法流経費に対し（一財）石川県水産振興事業団を通して助成。</p>
海女文化継承・振興事業	<p>海女文化調査、海女文化、海女採り魚介類のPR</p> <p>海女文化の価値を外部に発信し、海女採り魚介類や加工品の付加価値向上を目指す。</p>
首都圏農林水産物魅力発信事業	<p>海女採り魚介類のPR</p> <p>東京都内の百貨店・スーパーに海女採り魚介類を含む県産農林水産物を出荷・PRすることで、農林漁業者（海女）の収入増につなげる。</p>
いしかわ里山創成ファンド	<p>駆除したタコを用いた加工品の開発・販売</p> <p>未利用魚介類を販売することで収入増を図り、併せて漁業者に外敵駆除のインセンティブを付与する。</p>
石川県アンテナショップ （いしかわ百万石物語江戸本店 東京都中央区銀座）	<p>海女採り魚介類を使った加工品を首都圏で店頭販売</p> <p>首都圏の消費者に、海女採り魚介類をPR・販売することで、海女の収入向上を図る。</p>
石川県漁協輪島支所加工施設	<p>平成27年に既存施設（415㎡）を改修して整備。</p> <p>ワカメ、ズワイガニ、サザエ、魚類の加工・冷凍</p>